ワークシート１

【事例】高等学校

Ａの所属する柔道部は、１０年連続全国大会へ出場し、全国大会でも入賞者を輩出していた。全国的にも強豪校として有名であり、部の顧問も指導者として実力を認められている人物であった。保護者も部活動に熱心で、試合で負けると、「先生、もっと厳しく指導して下さい。うちの子は少々叩いても大丈夫ですから。」と意見することもあった。顧問としては期待に応えないといけないというプレッシャーもあり、厳しく指導していた。Ａは中学生の時にも全国大会へ出場するなど、県内でも有望選手の一人であり、主将をしていた。

同顧問は、部の雰囲気が緩んでいると感じた時や不甲斐ない試合であった時など、Ａだけを呼び、部員の前や別室で頭や頬を叩いたり、「なんだこの雰囲気は、お前がたるんでいるからだ。」「できないのなら、やめてしまえ。」などと叱責したりすることが度々あり、他の部員も気にしていた。

主将であるＡは、「なぜ、自分だけ責められ、叩かれるのか」その指導の意味が理解できなかった。そして、しばらくして、Ａは顧問の度重なる不適切な指導に耐えかねて不登校となった。

○　課題はどこにあるのでしょうか。

○　このような状況を生まないために、学校としてどのような取組が必要だったのでしょうか。

【事例】中学校

Ｂの所属するサッカー部は、決して強い部ではなく、県大会へもこの３年間出場していない。顧問は熱心で部活動へも積極的に足を運んでいるが、指導時にミスをした生徒がいた場合、体罰が行われていた。

例えば、練習中、足下近くに飛んできたボールを上手にトラップできないことが何度か続いた生徒に対して足を叩いたり、練習試合でシュートミスをした場合、ミーティング時に、上半身にボールをぶつけたりした。

また、練習試合の時に、得点に絡む場面でミスをした生徒には、試合後呼び出して、ボールで頭を叩くなどの体罰を何度も行った。

顧問の度重なる体罰に対して、我慢できなくなった生徒が保護者に相談し、この事案が判明したが、顧問のそういった指導を管理職は全く把握していなかった。

○　課題はどこにあるのでしょうか。

○　このような状況を生まないために、学校としてどのような取組が必要だったのでしょうか。

ワークシート２

【事例】中学校

授業中に生徒が他の生徒と消しゴムを投げ合って遊んでいたため、Ｃ教諭は近寄って注意したところ、当該生徒は「投げてねえわ。証拠があるんか。」と開き直って反抗的な言葉を発したため、その場では、それ以上の指導を行わなかった。

Ｃ教諭は、授業が終わってそのまま教室で当該生徒の思いを聞こうと話しかけたが、「関係ねえ。」と言い応じなかった。Ｃ教諭は自分の授業にも問題があると思い、わかりやすい授業づくりに努めたが、当該生徒の態度は改善されず、やがてクラス全体への指導も通りにくくなっていった。Ｃ教諭は、自信を失い、生徒の問題行動に対しても、本気で向き合おうとしなくなった。

真面目な性格のＣ教諭は、悩みを一人で抱え込み、同僚に相談することはなかった。当該クラスの担任や学年主任は、Ｃ教諭の授業がうまくいっていないことを知っていたが、日々の業務が忙しく、Ｃ教諭の相談にのろうとしなかった。

ある日、授業中に私語をしていた生徒に注意した際、当該生徒が反抗的な言葉を発し、立ち上がってにらみつけてきたため、平手で生徒の頬を１回強く叩いた。

○　課題はどこにあるのでしょうか。

○　このような状況を生まないために、学校としてどのような取組が必要だったのでしょうか。

【事例】小学校

Ｄ小学校には、教職員の指導に素直に従わない児童が数人いた。ある日、業間休みが終わって授業の始まりのチャイムが鳴ってもグラウンドで勝手に遊び、教室に入ろうとしない児童が５～６人いたため、Ｅ教諭はこれらの児童のところに行き、何度も教室に入るように注意したが、全く指示を聞かなかった。やがて一人の児童が「うるせんじゃあ。」と反抗的な態度をとったためカッとなり、「いい加減にしなさい。」と言って当該児童の頬を平手で数回叩き転倒させた。

○　課題はどこにあるのでしょうか。

○　このような状況を生まないために、学校としてどのような取組が必要だったのでしょうか。

【事例】中学校

Ｆ教諭は、放課後に部活動の指導のため、運動場に出た。運動場では多くの生徒が活動していて、数人の教員も部活動の指導を行っていた。その際、砂場の付近で木の棒を振り回している生徒を見つけた。Ｆ教諭は、部活動を行っている他の生徒への危害の恐れがあると判断し、走って砂場へ行き、その生徒に棒を渡すように再三注意したが従わず、逆にＦ教諭に対して殴りかかってきたため、その生徒を押し倒し落ち着くまでしばらく押さえつけた。

○　このような行為はどう判断したらよいのでしょうか。